

最後の忠臣蔵 (2010)

メディア 映画
ジャンル 時代劇 ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 133分
初公開日 2010/12/18
公開情報 ワーナー
映倫 G

【キャッチコピー】

生き尽くす。
その使命を、その大切な人を、守るために。

【解説】

『四十七人の刺客』の池宮彰一郎が忠臣蔵の後日譚を描いた同名時代小説を役所広司と佐藤浩市の主演で映画化。赤穂浪士の中にあつて名誉の死を果たせなかった2人の男を主人公に、忠義を貫き私心を捨てて自らに課された使命を全うするべく生き抜いたその後の過酷な人生を明らかにしていく。共演は桜庭ななみ、安田成美、片岡仁左衛門。監督はTV「北の国から」シリーズ、「優駿 ORACIO N」の杉田成道。

赤穂浪士の討ち入りから16年。すでに、とうに終わった事件と思われていたが、四十七士の中にあつてただ一人、切腹することなく生き延びた男がいた。その男、寺坂吉右衛門は、大石内蔵助より生き証人として討ち入りの真実を後世に伝え、浪士の遺族を援助せよとの使命を受けていたのだ。遺族を捜して全国を渡り歩き、ついにその旅も終わりを迎えようとしていた。そんな時、彼は討ち入りの前夜に突如逃亡したかつての友、瀬尾孫左衛門と出会う。固い絆で結ばれていた2人は、主君内蔵助のために命を捧げようと誓い合ったはずだった。そんな吉右衛門の非難にも決して真相を語ろうとしない孫左衛門。しかし彼にもまた、裏切り者の汚名に耐えてでも生き延びなければならないある使命があった。それは、内蔵助の隠し子、可音を密かに育て上げるというものだった。その可音にも晴れて縁談話が持ち上がり、孫左衛門の使命もいよいよ終わりを迎えようとしていたが…。

【クレジット】

監督	杉田成道
製作	小岩井宏悦
	服部洋
	椎名保
	酒井彰
	名越康晃
	井上伸一郎
	喜多埜裕明
	川崎代治
	大橋善光
企画	鍋島壽夫
製作総指揮	ウィリアム・アイアトン
プロデューサー	野村敏哉
	岡田渉

	宮川朋之		
原作	池宮彰一郎		『最後の忠臣蔵』 (角川文庫刊)
脚本	田中陽造		
撮影監督	長沼六男		
美術監督	西岡善信		
美術	原田哲男		
衣装デザイナー	黒澤和子	Kzuko Kurosawa	
編集	長田千鶴子		
音響効果	柴崎憲治		
音楽	加古隆		
照明	宮西孝明		
録音	中路豊隆		
整音	瀬川徹夫		
装飾	中込秀志		
スクリプター	中田秀子		
スーパーバイザー	角川歴彦 成田豊		
殺陣	宇仁貫三		
監督補	小笠原佳文		
出演	役所広司	Koji Yakusho	瀬尾孫左衛門
	佐藤浩市		寺坂吉右衛門
	桜庭ななみ		可音
	山本耕史		茶屋修一郎
	風吹ジュン		きわ
	田中邦衛		奥野将監
	伊武雅刀		進藤長保
	笈田ヨシ		茶屋四郎次郎
	安田成美		ゆう
	片岡仁左衛門		大石内蔵助
	柴俊夫		(特別出演)
	佐川満男		
	こぐれ修		
	福本清三		
	田畑猛雄		
	芝本正		
	結城市朗		
	井上肇		
	芹沢礼多		
	望月章男		
	高橋信吾		
	片岡功		
	白井滋郎		